

ジブチ共和国ビジネス投資ミッション 報告書

概要

- 目的地： ジブチ共和国
- 日 時： 平成 29 年 12 月 2 日から 12 月 5 日
- 目 的： ジブチ共和国への日本企業進出を促すと同時に、両国のますますの交流を深めること
- 主 催： 駐日ジブチ共和国大使館、一般社団法人アフリカ開発協会
- 後 援： 日本貿易振興機構

日程

- | | | |
|----------|---------|------------------------------------|
| 12 月 2 日 | 11 : 30 | 自衛隊拠点視察（日本人参加者のみ対象） |
| | 14 : 00 | 結団式（シェラトンホテル） |
| | 19 : 00 | ジブチ側主催 レセプション（シェラトンホテル） |
| 12 月 3 日 | 10 : 30 | オボック港視察、オボック州知事表敬 |
| | 13 : 00 | タジュラ港視察、タジュラ州知事表敬 |
| | 14 : 00 | ジブチ側主催昼食会 |
| | 18 : 30 | 駐ジブチ新井大使主催レセプション（大使公邸） |
| 12 月 4 日 | 終 日 | ジブチ貿易フォーラム出席 |
| | 13 : 00 | ジブチ港港湾局長官ゲレ氏主催昼食会 |
| | 15 : 00 | 外務・国際協力大臣、投資担当大臣面談
矢野が代表で大統領と面談 |
| | 19 : 00 | ジブチ側主催レセプション（ケンピンスキーホテル） |
| 12 月 5 日 | 午 前 | アッサル湖視察 |
| | 13 : 00 | 護衛艦あまぎり視察（日本人参加者のみ対象）
現地解散 |

自衛隊拠点、護衛艦視察

- ・ 日本人参加者のみ。
- ・ 拠点は、ジブチ国際空港から北西。
- ・ 11月に、拠点東側に隣接する土地を新たに借り上げることで合意し、継続的にジブチに充実した拠点を有することになったと姫田良明一等陸佐から説明を受けた。今後拠点は約15ヘクタールの広さになり、ソマリア沖アデン湾や周辺国の治安悪化に備える。
- ・ 自衛隊のジブチでの活動内容、航空哨戒活動、地域社会貢献活動などプレゼンを受ける。
- ・ 現在ある拠点の施設を見学。プレハブの建物や殺風景な周辺を見て、隊員が過ごしやすい環境づくりも重要であることが取り上げられた。
- ・ 護衛艦では、司令官、艦長より、海賊哨戒活動についての説明を受け、昼食を御馳走になる。



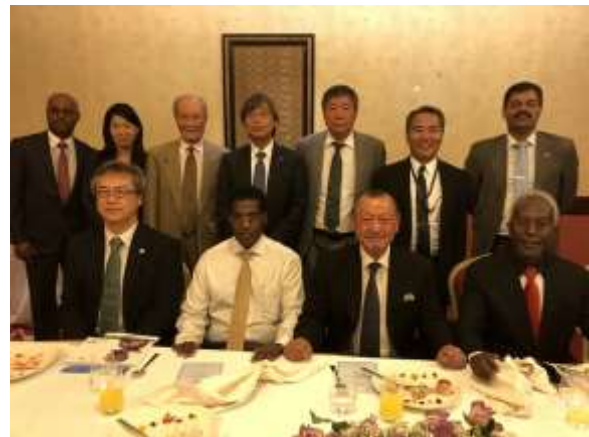
ジブチ商工会議所

- ・ ジブチ商工会議所創立110周年を記念して、12月3日から7日には「ジブチ国際展示会」、4日と5日には「東アフリカの地域統合に向けた、インフラへの投資」というフォーラムが開催された。日本からの参加者数が一番多かった。
- ・ 12月2日夜、ジブチ商工会議所主催でレセプション。アライタ在京大使が出席。上記展示会などに出席するために来訪中の日本商工会議所メンバー約40人も出席し懇親。
- ・ ジブチ商工会議所は、日本でいう経団連と連合そして日本商工会議所が合体したような組織で、財界に大きな影響力をもつ。

タジュラ港、オボック港、港湾局長官との昼食会

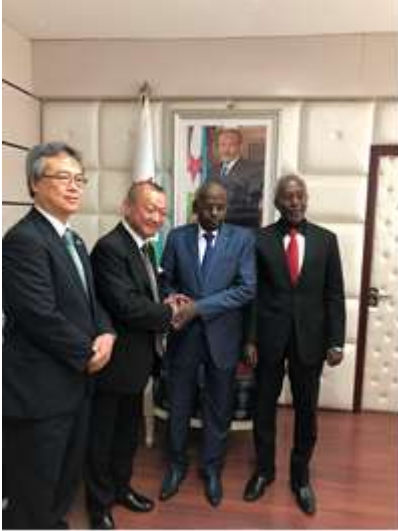
- ・ ジブチ側が用意した警備艇でジブチ港からオボック港、タジュラ港を周りジブチ港に帰港。オボック、タジュラでそれぞれ州知事の歓迎を受けた。
- ・ オボック州では漁業と観光、海や道路の整備に力を入れたい。観光の側面では、現在、欧州からの観光客が多い。
- ・ 現在オボック周辺は、給水施設もなくあまり賑わいを見せていないが、地政学上非常に重要で、オボック港はアデン湾から紅海に入る船が寄港しやすい場所があり、ジブチ政府は将来大型船ドックを設置することを考えている。この狭い海域に目をつけて、中国は港そのものもさることながら、新空港をこのあたりに建設することに興味をいだいている様子。
- ・ オボックには、イエメン、エリトリア、エチオピアからの難民が訪れている。受け入れの体制整備が必要で、これについては欧州や日本の援助を受けている。
- ・ タジュラ州では、農業、漁業、観光、道路整備に力を入れていきたい。

- ・ タジュラ湾に面するジブチ北部の主要都市であるオボック及びタジュラから首都ジブチへの海上輸送能力を強化するためのフェリーの整備、接岸施設となるタジュラ港及びジブチ港を改修することで海上輸送能力の強化を図る計画が進行中。（ジブチビジョン 2035 の一環）
- ・ タジュラ港改修についてはフェーズ 1（タジュラ新港：資金はアラブファンド、運営はジブチ港湾局）がすでに中国によって進んでいる。エチオピア北部で採掘されるカリウムをここから荷積み・輸出する目的。天然ガスなどの輸出は現在考えていないとのこと。但しまだ何も具体的な計画はない。エチオピア国境までの道路は 2018 年 11 月には完成予定。フェーズ 2（接岸施設、防波堤建設、浚渫）を日本で、というのが現在のジブチ政府の希望で調整中。フェーズ 2 の方は、扱い品目がまだ決まっていないもののエチオピアで生産される一般商品を扱うことになるので、フェーズ 1 のエリアよりも重要だと政府は考えている。コンテナターミナル建設の意向もある。
- ・ タジュラ、オボック地域の人口は 2020 年までに 2 割増しになる予想。ジブチ・タジュラ間、ジブチ・オボック間のフェリー増便の必要が急務。また 7 月から 8 月の強風が吹く時期（ハムシン季）は、安全のためフェリーの運航が停止されるため、強風にも耐える運航能力高いフェリーが必要。現在、日本から適当なフェリーを供与する話が進んでいる。
- ・ VISION2035 に港湾案件も含めジブチにおける計画プロジェクトは記載されているが、港湾案件の執行は港湾局が行う。



ゲレ大統領表敬訪問

- ・ ミッションを代表して、矢野が大統領を表敬。アリ・ゲレ投資大臣、アライタ在京大使同席。
- ・ 大統領は訪中したばかり。矢野との面談は外交を多面化、多様化する姿勢の表れか。
- ・ 大統領からの発言：①ミッションに対するお礼と、地熱、インフラ分野などにおける日本の協力に感謝。②日本もジブチも隣国との関係で難しい局面にあるのかもしれないが、そういう点においても両国で協力していきたい。③2019 年の TICAD7 に喜んで参加したい。
- ・ 矢野から、ジブチ国民の健康促進に役立つことを期待し、西村医科器械から 2 機のソナーを供与することを説明。目録は儀典長経由で手交。大統領、感謝。
- ・ ゲレ大統領は、地熱に力を入れている。これは他のエネルギーを否定するものではなく、地熱に関して活動する公社が他のエネルギー関連公社とはちがって大統領直結になっているため情報の取得が他より早く行われているからだと思われる。



アブドゥルカデル首相表敬訪問

- ・ アライタ在京大使同席。
- ・ 首相からの発言：①ミッションに対するお礼。②ジブチでは中国の基地が建設されて以来、中国のプレゼンスが高いが、中国のプロジェクトはすべて借款で行われているため将来返済が大変になるのは明らか。一方日本はプロジェクトを無償で行い、しかも質が高いため高く評価している。③2011年以來ゲレ大統領はジブチの東京広場で犠牲者の追悼式を毎年行っている。④ジブチでは雨が降っても水が直ぐに海に流れてしまい溜まらない。井戸を建設して住民の水確保を促進したい。(以前首相はジブチ水道局の総裁で、当時日本は飲料水供給計画を実現した。)

- ・ 国道一号線の改修計画や2隻目のフェリー供与につき、両国間で調整が行われている。

ユスフ外務・国際協力大臣

- ・ アライタ在京大使、ハッサン・アジア太平洋課担当官同席。

- ・ 大臣からの発言：①拠点の賃貸借交渉については日本とジブチの関係を考えれば当然の結果。日本の外務省、防衛省にもお礼を申し上げたい。②ミッションに対するお礼。③ジブチの産業特区、フリーゾーンへの日本の進出を検討してほしい。同特区は4000ヘクタールあり、内500ヘクタールをトルコ企業、400ヘクタールを中国企業が利用する。まずは港湾当局とMOUを結んでスペース確保を。④現行のフェリーは自分自身に関与した案件。2隻目のフェリーを歓迎したい。⑤国道一号線の改修とフェリーターミナル改修事業が重要。⑥大統領は地熱案件に興味を持っている。⑦米谷新大使の着任を心待ちにしている。



アリ・ゲレ投資大臣との懇談

- ・ アリ・ゲレ投資大臣が「ジブチ国際展示会」の責任大臣で会ったことから、会談の場を設けず、展示会やそれに付随するイベントの際に何度か話をした。
- ・ 大臣からの発言：①日本企業のジブチ・フリーゾーンへの進出を期待。例えば、400ヘクタールだけ日本としてまず確保するというのはどうか。トルコ、中国などはすでにMOUを結んでいる。②地熱の分野での日本の協力に感謝。地熱に限らず太陽光、風力など再生可能エネルギーの開発に力を入れていきたい。③投資を考える日本企業が安心できるインフラの整備が急務。港や道路などの開発に、日本に積極的にかかわってほしい。④是非、早い時期に訪日したい。

その他

- ・ ジブチ回廊上の要衝である国道 1 号線で損傷が進んでいる区間約 20Km の改修が調整中。無償資金協力。
- ・ タジュラ湾では、特に 7 月—8 月、風が強い。この風力を利用した風力発電の話がカタール資本で進んでいたが、昨今の事情からカタールが撤退した。
- ・ アッサル湖は塩分濃度が高い湖で、丸い形の塩がとれる。中国がここの塩をクベツト港から輸出している。